



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に30人が登壇

**こども医療費無料制度を
窓口払いなしで
中学校卒業まで充実を**



卯月 武彦
市長

少子化が大きな社会問題になっていきます。子どもを産まない一番の理由は、経済的負担が大きいためです。少子化対策としても、こども医療費無料制度は重要です。また、子育て支援を充実することで、若い世代が集まり、市の発展にもなります。

県内では、通院も就学前まで無料が当たり前で、小学校卒業まで無料や、鴻巣市のように、中学校卒業まで無料のところさえあります。春日部のように、4歳までという市はほかにありません。また、医療機関の窓口で支払ってから、申請して払い戻してもらっています。窓口払いをなくす自治体も増えています。

子育てで日本一を目指し、少なくとも県内最高の中学校卒業まで拡充すべきです。それが、すぐに難しいのであれば、当面、申請が採択されている「窓口払いなしで就学前まで」

を、補正予算で直ちに実施すべきです。申請採択を踏まえて、どう対応する考えなのかお伺いします。

○市長

こども医療費無料制度の充実を初め、子育て支援充実の必要性については認識していますが、財政状況を考慮して検討していきます。補正予算で直ちに実施することは考えていません。

このほか

○東中学校の早期建て替え、各学校の耐震補強の計画的実施など学校施設の整備について

**「春日部市の日」の
制定について**



栗原 信司
議員

昨年、春日部市は合併することができました。そこで地域の青年達より、この合併を記念して「春日部市の日」を制定し、明日の春日部を担うという気持ちを持っていたという提案がありました。

若者達の熱い気持ちを前向きに受け止め、合併して1周

年を記念して、本年秋にも導入したらいかがでしょうか。青少年達への映画館や公共施設の無料開放、記念イベントなどの開催はいかがでしょう。市長のご英断を仰ぎたくお伺いいたします。

○市長

「春日部市の日」を制定することは、合併した春日部地域、庄和地域、それぞれの地域にお住まいの方にとって一体感を醸成するために、一つの有効な方法であると認識しております。

市民の日の制定は、市民の側からの機運の盛り上がりがあるために十分発揮させるために不可欠であることから、今年度に予定しております市の花、市の木の制定にあわせて、幅広い層からの市民の皆様の見解を伺いながら、公共施設の無料開放、青少年育成のための事業も含めて、調査研究してまいります。

このほか

- 乳幼児のショートステイ・一時預かりについて
- 救急医療の対策について
- 障害児支援策について
- 住基カードの有効活用について
- 緑町地域に公園整備を

公共施設に広告を



山崎 進
議員

歳入において、公園のベンチや遊具に広告を出すことで、収入を得られないかとの以前の提言に、構造改革特区なども視野に入れ進めていくとの答弁をいただいています。その後どのような研究をしているか伺います。法令上の規制があるのなら、それが変わる見通しはどのようなのでしょうか。

また、公民館や文化会館などの公共施設における広告料収入について、どのような研究がなされていますか。総合体育館などの施設の名前を売却し、広告収入を得るという発想はいかがでしょうか。

○都市整備部長

民間事業者などの広告物を都市公園内に設置し、広告料を徴収することに関しては、特区申請をし、都市公園法は一部改正されました。しかし、県の屋外広告物条例が改正される必要があり、現在、県と協議中で、粘り強く要望して

まいります。

○総合政策部長

施設の屋外広告は県条例の規制があるため、屋内の可能性を検討しております。また、封筒等の印刷物や、公用車等の物品への広告掲載についても検討しており、可能なものから順次実施していきます。

公共施設のネーミングライツの売却は、現段階ではサッカー場等の大規模施設で行われておりますが、今後十分に研究してまいります。

このほか

○市立病院の運営について
○子育てについて

中心市街地の活性化について



栄 康次郎
議員

粕壁三丁目A街区再開発の進捗状況と、中央通り線の延伸予定、それとサティ跡地を中心とした粕壁東一丁目地区の再開発について伺います。

また、春日部駅西口南地区ですが、民間事業者の着工・竣工の時期と内容について伺います。併せて県のふれあい拠

点施設のその後の状況を伺います。そして、鉄道の連続立体交差事業の進捗状況と今後の予定についても伺います。

一方、春日部、庄和それぞれのTMOがありますが、今後の計画を伺います。

○鉄道高架担当部長

鉄道高架については、現在県で、都市計画決定に向けた調査を実施しています。粕壁三丁目A街区については、19年度にA1街区、20年度にA2街区の完成を目指します。

東口市街地整備事業については、三つのブロックに分け、早期の事業化に向け鋭意努力します。中央通り線は、都市計画道路と沿道地域の一体的な整備について、事業化に向けた諸条件の整理をします。

○総合政策部長

ふれあい拠点施設については、周辺事業との調整を図りつつ、民間参画意向等を精査しながら県と検討を進めます。

○環境経済部長

民間商業施設については、2棟で約7万平米の施設が、平成19年秋開業の予定です。

TMOにつきましては、今後

このほか

○教育行政について

危険な踏切対策について



片山い<子
議員

春日部駅北側の第124号踏切、通称「大踏切」は、踏切内の幅員が歩道にあたるグリーンベルト分広くなっているため、踏切前後の道路幅員が踏切より狭くなっています。

歩行者や自転車、車いすなどが西口から東口に渡ったとき、狭くなった車道部分に自転車も歩行者も車いすも合流せざるをえず、また、グリーンベルトが片側だけのため、反対方向から自転車も歩行者もやってくる、という危険な状態になっています。

せめて、歩行者や自転車、車いすなどが踏切を渡ってすぐに線路沿いに曲がり、駅方面に通じる道路に抜けられる迂回路を設けることはできないでしょうか。

○建設部長

ご提案の第124号踏切の迂回路を設けてはどうか、という場所については、一部は国有地ですが、一部は民有地

であり、また、鉄道敷にもなっています。借地あるいは買収によってショートカットで通路に接続させることができるとかどうか、現地を確認したいと考えます。さらにショートカットさせる場合の、通路全体の諸条件を解決できるかどうか検討し、可能であれば、埼玉県及び東武鉄道にお願いしたいと考えております。

このほか

○開かずの踏切対策について
○一ノ割駅エレベーター設置について

○市議会議員選挙について



第124号踏切

春日部中学校について



武 幹也
議員

春日部中学校は文化部、運動部とも目覚ましい活動をしておりま。そこで、吹奏楽部のシンガポールフェスティバル及び、韓国済州島国際大会への招待について、その経過を伺います。

一方、生徒数が多いにもかかわらず、1人当たりの校庭面積は市内で一番狭いと伺っています。テニスコートは2面を土地開発公社へ返還することになっています。今後の校庭用地の確保と、夜間照明の設置、他の公共施設利用の可能性等、校庭の効率的活用についての考えを伺います。

○学務指導担当部長

シンガポールフェスティバルについては、シンガポール政府の受託者から、春日部中学校を推薦、招待する旨の連絡がありました。派遣日が授業日であること等を伝え、現在に至っています。韓国済州島国際大会への参加につ

ては、吹奏楽部の保護者会を開き検討した結果、見送ったものです。

○学校教育部長

テニスコートの代替地としては、隣接した土地改良事務所跡地について、関係部署と協議し早急に整備に努めます。校庭利用の効率化については、今後とも研究してまいります。

このほか

- 産業拠点づくりについて
- 公用車について
- 内牧地区の信号について
- 公共下水道三千貝堀第一幹線築造工事について
- 市道2-11号線について



春日部中学校

東中学校の建て替えについて



小島 文男
議員

東中学校の改築計画では、県有地を譲り受け、18年度に土地の測量をして、設計、建設の粗方な筋道をつけることになっていきます。いまだ、県からの承諾の返事がないとのことですが、その後の経過について伺います。また、県有地を譲り受ける為には大変な予算が必要となりますので、

国会議員や県会議員にパイプ役として大いに協力してもらい、これからの次代を担う中学生のために、一刻も早く県の公用地を払い下げいただく努力をしていただきたいと思います。見解を伺います。

○学校教育部長

東中学校改築計画は、県有地の県春日部農業改良普及センター跡地を取り入れて改築する計画です。県では、農林部から総務部へ協議が移ったと聞いております。県の承諾が得られ次第、早急に測量に入りたいと考えています。ま

た、国会議員、県会議員、市議員のお力添えをいただき、できる限り安価に払い下げしていただけるよう努力します。

○市長

東中学校の改築につきましては、今後も県に早期に承認が得られるよう努力してまいります。この件については地元の小島議員のお力を是非お願いしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

このほか

- 市立病院の健全経営と再整備計画について
- 市政の運営の中で

春日部駅東口市街地整備事業について



岩谷 一弘
議員

西口のふれあい拠点施設予定地からの(仮称)東西連絡道路エリア、住環境エリア、

ブロンズ通り寄りの商業エリアが対象となっている粕壁東一丁目地区市街地整備事業の進捗状況について質問します。

①地域住民の多くが反対している土地区画整理という手法

は白紙となったのか。これは住民の行政への信頼を取り戻す大切な第一歩であります。

②三月以降現在まで、どのように地域住民と十分誠意をもって協議を行ったのか。

③別の手法である沿道整備街路事業の説明と、この場合の地域住民への経済負担の有無。

④ブロンズ通りを中心とした商業エリアについて、どのような活性化の取り組みを行っていくのか。

○鉄道高架担当部長

土地区画整理事業は困難と考え、沿道整備街路事業にて協議を進めたいと考えています。直接買取の他、土地交換等を行い、沿道地域での住み替えや代替地が確保できる手法です。これにより、権利者の多様な要望に柔軟に対応することができ。また、具体的な負担や対応については、今後ご理解をいただきながら協議を進めてまいります。

○環境経済部長

春日部市中心市街地活性化基本計画に基づき取り組んでいます。商工会議所、春日部TMOと連携、支援し、地域の振興に努めてまいります。

このほか

○指定管理者制度について

建築物の解体工事における アスベスト対策の 徹底化について



新部 裕介
議員

豊野地区において、アスベストに関する建築物の適正な解体処理を求める住民運動が、民間事業者に対して起きました。住民側が求めたものは、アスベストが使用されていないことを十分確認することを通じ、業者の不正による解体工事が行われ、健康被害が起きないようにすることでした。飛散防止の4つの法令及び各種規制等が存在しても、届出等が所有権者側の主体性にゆだねられており、積極的に行政がチェックできない制度では、対策に限界があります。アスベストが使用されている可能性が高い時期に建てられた建築物の解体については、アスベスト使用の有無を厳格な方法で検査を義務付け、市が解体工事のアスベスト対策について、チェック機能を果たすことが可能になる条例化が必要であります。市の見解をお伺いいたします。

○環境経済部長

アスベスト使用の疑いがある建築物の解体についてチェック機能を設けることは、環境保全課に解体する届出がなされない現状を考えますと、把握すること自体が困難であります。今回のご提言については、大変貴重なご提言として受け止め、十分、今後研究させていただきます。

このほか

○リフォーム詐欺等の悪質業者による新たな手口から市民を守れ

○市立病院の赤字体質の解消策について

市道9-3225号線の 拡幅工事の進捗状況は



富樫 清年
議員

市道9-3225号線の拡幅工事区間は、130メートルほどであります。小さなものも含めると何十件という事故が起きており、また、沿線では宅地開発も行われ、今後、この道路を通行する車両は増加するものと考えます。そこで、現在の進捗状況と

今後の計画について伺います。

また、平成17年度に取得した用地を待避所として整備する時期について伺います。

さらに、この拡幅整備に関する市長の見解を伺います。

○建設部長

平成12年度以降、拡幅整備に向け詳細設計や測量等を実施してまいりました。平成17年度においては、地権者のご協力を得て、道路用地の一部を取得しており、今後も継続的に事業を推進できるよう努めてまいります。

また、待避所としての開放は、早急に有効活用するため平成18年9月末までに整備していきたいと考えています。

○市長

重要な幹線道路でもあり、既に投資を実施している道路でもありますので、厳しい財政状況ですが、継続的に予算確保ができるよう、また、投資効果が現れるよう考えています。

このほか

○飯沼の有効利用について

○市道1-106号線(葛中通り)の側溝整備及び歩道の設置

○ドッグランの設置について

○ユリノキ通り延伸の進捗状況は

学童保育所の 大規模化解消を



松本 浩一
議員

県の放課後児童クラブ運営基準では「集団活動を指導できる規模は40人を限度とする。41人を超えている場合は、複数の集団活動ができる体制をとることが必要である。」としています。

しかし、春日部地域の学童保育所は18カ所すべてで定員が50人以上で、100人のところもあり大規模化しています。庄和地域の学童保育所は3カ所、定員が30人ですが、すべてで定員をオーバーしています。

学童保育所の必要性と期待はますます高くなっています。入所希望者が激増している中で、定員を増やして大規模化するのではなく、40人を超えたら分割して2カ所目をつくり、適正な規模にし、子どもたちのびのびと安心して生活できるようにすべきです。

○福祉部長

入所希望者が急激に増加し、

まず入室できるできるようにすることを優先した結果、大規模になりました。

できる限り、県の基準に沿ったクラブ運営を目指したいと考えています。

○市長

ニーズにこたえるために入室を優先に考えています。

定員を超えた場合は、設置方針に基づき整備していきますが、その際、県の基準に対応した施設を検討します。

このほか

○循環型経済で市内商工業の活性化を

○歩道の整備を早急に



放課後児童クラブ

庄和地域の下水道整備計画について



会田 幸一
議員

庄和地域の下水道整備は、南桜井駅南口を初め、大衾地区、西金野井地区の一部など、住宅地にもかかわらず、整備計画が具体化されていません。

旧庄和町では、道路整備とあわせて下水道整備を実施していく方針でありましたが、新市では、道路整備とは別に下水道整備を実施するという事であり、さらには、今年度から都市計画税という目的税が課せられたことから、具体的な下水道整備計画を示すべきと考えますがいかがか。また、大衾地区の中で、いまだに事業認可区域に位置付けをされていない未整備の地域がありますが、その理由について伺いたい。

○建設部長

西金野井地区は、平成21年度までの整備完了予定で計画を進めており、南桜井駅南地区は、平成22年度までを事業期間とする南桜井駅南口都市

計画事業との整合を図りながら整備を完了する予定です。

また、大衾地区では過去に地域整備の動きがあり、その事業が開始された場合の下水道整備の手戻り防止という観点から、現在の事業認可区域に取りかかれなかったという経緯があります。今後は、他の事業や土地利用等の整合性を踏まえた中で、現在整備中の認可区域完了後に整備方針を考えてまいります。

このほか

○南桜井駅南北整備及び(仮称)春日部庄和線道路整備について

春日部市立病院について



滝澤 英明
議員

市立病院の病床数は、条例により350床と定められていますが、平成17年度からは1病棟を閉鎖して297床で運営されているのが実態です。

病院からは、看護師不足で1病棟を閉鎖せざるを得ないと説明を受けています。また、赤字の大きな原因の1つが、

この病棟閉鎖によるものと伺っています。もし、350床で運営することが赤字解消の方策の1つであれば、早期に看護師不足を解消することが必要ではないかと考えます。

①どのように看護師確保の努力をしているのか。
②平成17・18年度の状況が、297床で運営せざるを得ないのであれば、他部門で職員の定数減を行わなければ、余剰人員を抱えていることになると思うが、認識はいかがか。
③市立病院の経営に対する考え方を伺います。

○病院長

①院内保育室の設置など、看護師の離職防止策の検討を行っています。また平成16年度に開校した看護専門学校の生徒が平成18年度末に卒業予定であり、1人でも多くの卒業生を確保したい。

②市役所の中で共通な職種があれば、フレキシブルな異動は可能と考えますが、実際は難しいと考えています。

③小児科、産婦人科を混合病棟としているため産婦人科の患者様が少ないなど、赤字の原因を見据えて改善していきたい。バランス・スコアカードの検討を行っています。

豊春地域の危険道路改良を



秋山 文和
議員

豊春駅から国道16号までの道路の問題は、これまででも一般質問の中で取り上げていますが、一部改良されたものの、十分ではありません。この道路は、通勤通学、買い物などの生活道路として多くの市民が利用していますが、道幅が狭く、交通量が多く歩道も一部しかないために、常に交通事故の危険にさらされています。恐怖の道路と言われています。大きな事故が起きれば、この状況を放置した市の責任が問われます。最優先事業として道路改良に取り組むとともに、警察と協力をして速度制限や大型車両の禁止など、交通安全につながるために、今打てるあらゆる手を打つべきだと考えます。改善方法や取り組み、見直しについて伺います。

○建設部長

市道1-18号線の整備計画につきましては、歩道整備計画要領を策定し、平成16年4

月1日より建築あるいは開発行為が行われる際に用地買収の協力をお願いしています。

平成17年度には1件、約36平方メートルの買収を行い、平成18年度には、1件協力いただく予定になっています。他にも相談が2件ほどきている状況です。買収した部分につきましては、グリーンベルト等の路面表示を行い、歩行者に対する避難場所として、暫定的に整備をしていきたいと考えています。

このほか

○巨大商業地域は必要か
○市立病院の再生、充実を



市道1-18号線